

## 12 月 10 日 : 売り圧力が高まり下落

VN 指数は火曜日に下落、取引時間中に大型株への売り圧力が高まったことが要因となった。

ホーチミン取引所の VN 指数は 0.60% 下落し 960.30 ポイントで取引を終えた。

出来高は 2 億 4300 万株、売買代金にして 5 兆ドンであった。

月曜日には 0.26% ほど上昇していた。

204 銘柄の下落に対し、130 銘柄の上昇となった。

午前中は上昇を継続していたが、午後に入り売り圧力が高まったことを受けて、指数はマイナス圏へと下落した。

ATC セッションで押し目買いが入ったことで指数の下落を和らげた。

大きく下落した大型株は、マッサングループ (MSN) (-6.4%)、ペトロベトナムガス (GAS) (-1.9%)、サイゴンビール (SAB) (-1.1%)、ビンホームズ (VHM) (-0.5%)、テクコムバンク (TCB) (-1.8%)、ペトロリメックス (PLX) (-1.2%)、ビンコムリテール (VRE) (-0.9%)、ベトナム投資開発銀行 (BID) (-0.3%)、ベティンバンク (CTG) (-0.5%)、ベトジェット航空 (VJC) (-0.5%) などであった。

一方、上昇した銘柄としてバオベトホールディングス (BVH) (+3%)、ベトコムバンク (VCB) (+0.2%)、ホアファットグループ (HPG) (+0.8%)、ビナミルク (VNM) (+0.1%)、FPT コーポレーション (FPT) (+0.4%)、フーニョアンジュエリー (PNJ) (+0.7%) などであった。

VN30 指数は 0.77% 下落し 873.16 ポイントで取引を終えた。

セクターごとでは、8 セクターのみが上昇した。保険、IT、小売、ゴム製品などであった。

一方、17 セクターは下落した。石油ガス、銀行、飲食料品、卸売り、農業、水産加工、ヘルスケア、不動産、プラスチック化学品などであった。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.31% 下落し、102.04 ポイントで取引を終えた。

出来高は 3080 万株で売買代金にして 3886 億ドンであった。

外国人投資家は 1461 億ドンの売り越し、MSN(688 億ドン)、VHM (586 億ドン)、FLC グループ (ROS) (400 億ドン)などに売りが集まった。HNX 取引所でも 998 億ドンの売り越しだった。

BIDV 証券によると、マクロ経済に変化が無い限り、指数は 950-960 ポイントで推移するだろうとのことだった。

---

### ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。